



上場会社名 日立金属株式会社

コード番号 5486

(URL http://www.hitachi-metals.co.jp)

上場取引所 東大

本社所在都道府県 東京都

代表者 執行役社長 持田 農夫男

問合せ先責任者 コミュニケーション室長 石毛 秀

TEL (03)5765-4073

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無： 有

固定資産の減価償却の方法について年度見込額のうち当第3四半期分を計上しております。

また、法人税等の計上は、簡便的に課税所得金額を算定し、法定実効税率を使用して計上しております。

最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無： 有

のれんの償却については、従来、5年間で均等償却(金額が僅少な場合は発生年度に全額償却)する方法としてきましたが、当第3四半期に実施した公開買付けや将来の投資案件において、多額ののれんが発生し、その投資効果の発現する期間が長期にわたるものもあることから、当年度より、個々の投資ごとに投資効果の発現する期間を見積り、計上後20年以内で均等償却する方法に変更いたしました。

連結及び持分法の適用範囲の異動の有無： 有

連結範囲及び持分法の適用に関する事項

連結子会社数 100社 持分法適用関連会社数 13社

連結範囲及び持分法の適用の異動状況

連結(新規) 1社 (除外) 3社 持分法(新規) - 社 (除外) 2社

<連結子会社>

(新規)宝鋼日立金属軋(南通)有限公司

(除外)株日立金属MPF、Hitachi Metals Electronics (Malaysia) Sdn.Bhd.、株ジコー

<持分法適用会社>

(新規)なし

(除外)トーハク・物流サービス株、双雄精密電子(股)有限公司

2. 平成19年3月期第3四半期財務・業績の概況(平成18年4月1日～平成18年12月31日)

(1) 経営成績(連結)の進捗状況

(注)百万円未満は四捨五入して表示しております。

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年3月期第3四半期	475,357	9.3	39,449	17.6	38,880	18.4	18,245	56.6
18年3月期第3四半期	435,069	4.9	33,555	13.4	32,832	23.5	11,654	11.2
(参考)18年3月期	590,678		47,502		45,305		17,165	

	1株当たり四半期(当期)純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
19年3月期第3四半期	52.76	-
18年3月期第3四半期	33.56	-
(参考)18年3月期	48.95	-

(注)売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率

[経営成績の進捗状況に関する定性的情報等]

当第3四半期（9ヶ月累計）におきましては、当社の主要顧客である自動車業界及びIT関連機器業界向けを中心とした需要が引き続き好調に推移したことから、売上高は、対前年同期比9.3%増の475,357百万円となりました。

また、利益につきましては、希少金属を中心とする世界的な材料価格上昇の影響を引き続き受けたものの、これに対応した価格の見直し及び一層のコスト削減に努めた結果、営業利益は、対前年同期比5,894百万円増の39,449百万円となり、経常利益につきましては、対前年同期比6,048百万円増の38,880百万円となりました。当四半期純利益につきましては、対前年同期比6,591百万円増の18,245百万円となりました。

セグメント別の状況は次のとおりです。各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高または振替高を含んでおります。

高級金属製品

金型・工具用材料及び切削工具につきましては、自動車業界を中心とした需要が引き続き好調であったことから、増加しました。電子金属材料につきましては、半導体等パッケージ材料が半導体生産の好調を受けて増加し、液晶パネル関連材料もIT家電を中心とした旺盛な需要に支えられ、大幅に増加しました。また、ブラウン管用ディスプレイ関連材料につきましても対前年同期比では増加したことから、電子金属材料全体では大幅に増加しました。各種ロールにつきましては、中国を始めとしたアジア向けを中心に増加しました。射出成形機用部品につきましては、自動車業界及びIT関連機器業界の旺盛な設備投資を受け、増加しました。

この結果、当セグメントの売上高は202,256百万円となり、これを前年同期と比較しますと、12.3%の増加となりました。また、営業利益は対前年同期比1,178百万円増の17,139百万円となりました。

電子・情報部品

フェライト・希土類等各種マグネット及びその応用品につきましては、ハードディスク向けが業界再編による主要顧客向けの売上減を受け減少しましたが、自動車向け及びFA向けの売上増加で補い、全体では増加しました。携帯電話用部品につきましては、アイソレータは、基地局向けが増加する一方、携帯電話端末向けがアイソレータレス化の影響を受けて減少しました。また、積層部品が前年同期並みとなった結果、携帯電話用部品全体では前年同期並みとなりました。IT機器用材料・部材につきましては、ハードディスク向けを中心とした需要が好調に推移し、増加しました。軟質磁性材料につきましては、ソフトフェライトがIT関連機器向けを中心に大幅に増加し、ファインメット及びアモルファス金属材料は、主に国内及び海外の産業機器向けの需要が引き続き拡大し大幅に増加したことから、軟質磁性材料全体では大幅に増加しました。

この結果、当セグメントの売上高は125,871百万円となり、これを前年同期と比較しますと、4.8%の増加となりました。また、営業利益は対前年同期比247百万円増の13,099百万円となりました。

高級機能部品

高級ダクタイル鋳鉄製品につきましては、国内販売については、製品の精選を行ったことに加え、主要顧客向けの売上減の影響を受けて減少しましたが、海外販売については、アジアを中心とした海外生産の好調を受けて増加したことから、全体では前年同期並みとなりました。耐熱鋳造製品につきましては、海外生産の増加に加え材料費高騰に伴う価格改定を進めたことから、対前年同期比では増加しました。アルミホイールにつきましては、新型車種での当社製品の採用が進んだことから、大幅に増加しました。各種鋳物管継手につきましては、配管材質の変化の影響はありましたが、プラント及び住宅向けが好調に推移した結果、前年同期並みとなりました。ステンレス及びプラスチック配管機器につきましては、ガス関係向けを中心に増加しました。内装システム及び構造システムにつきましては、民間の旺盛な設備投資に加え、大型物件の売上計上もあり、大幅に増加しました。

この結果、当セグメントの売上高は154,669百万円となり、これを前年同期と比較しますと、14.1%の増加となりました。また、営業利益は対前年同期比3,808百万円増の10,210百万円となりました。

サービス他

国内販売、海外販売とも好調でした。

この結果、当セグメントの売上高は53,426百万円となり、これを前年同期と比較しますと、15.6%の増加となりました。また、営業利益は対前年同期比599百万円増の1,196百万円となりました。

なお、当社は、電子・情報部品セグメントの中核事業である磁性材料事業の経営資源を一体化するため、平成18年11月7日から同年12月11日までの間、当社子会社である株式会社NEOMAXの普通株式の公開買付けを実施いたしました。その結果、当社は株式会社NEOMAXの発行済株式総数の93.2%を保有するに至りました。

本公開買付け終了後、当社と株式会社NEOMAXは、日立金属グループの企業価値最大化を実現するための施策について検討を進めた結果、両社の完全経営統合を果たすことが最善との判断に至りました。これを受けて両社は、平成19年1月15日に合併契約書を締結し、同年4月1日を効力発生日として、当社を存続会社、株式会社NEOMAXを消滅会社とする吸収合併を実施することといたしました。なお、この吸収合併は、会社法の簡易合併及び略式合併の規定により、各社の株主総会の決議による合併契約の承認を受けることなく行われます。

(2) 財政状態(連結)の変動状況

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
19年3月期第3四半期	620,755	217,458	31.4	563.93
18年3月期第3四半期	549,313	173,299	31.5	500.18
(参考)18年3月期	554,275	179,960	32.5	518.93

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
19年3月期第3四半期	36,740	112,868	56,194	44,215
18年3月期第3四半期	26,970	18,662	10,402	52,930
(参考)18年3月期	55,547	27,983	18,053	64,844

[財政状態(連結)の変動状況に関する定性的情報等]

当第3四半期の営業活動によるキャッシュ・フローは、増益及び運転資金の改善により36,740百万円の収入、前年同期比では9,770百万円の収入増となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、設備投資、投資有価証券の取得による支出に加え、子会社である株式会社NEOMAXの株式の公開買付け等で112,868百万円の支出となり、前年同期比では94,206百万円の支出の増加となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、株式の公開買付けの資金手当等により有利子負債が61,504百万円増加し、配当金支払や自己株式の取得による支出等がありましたが、全体では前年同期の10,402百万円の支出から56,194百万円の収入となりました。

以上の結果、現金及び現金同等物の期末残高は期首に比べ20,629百万円減少し、期末残高は44,215百万円となりました。

3. 平成19年3月期の連結業績予想(平成18年4月1日～平成19年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
通 期	630,000	47,800	22,000

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 63円65銭

[業績予想に関する定性的情報等]

パソコンや携帯電話、半導体などエレクトロニクス関連製品及び自動車関連製品の需要が引き続き堅調に推移し、また、原材料価格の上昇に伴う影響もあり、平成19年3月期(平成18年4月1日～平成19年3月31日)の通期業績は、売上高は中間決算発表時の予想を上回る見込みです。利益につきましては、当社子会社の株式公開買付け実施に伴うのれんの償却が当年度第4四半期より発生することから、営業利益、経常利益とも中間決算発表時の予想を700百万円下回る見込みですが、当期純利益につきましては、上記に伴う少数株主持分の流出が700百万円減少するため、中間決算発表時の予想に変更ありません。

(注記) 前述の業績見通し等に記載されている各数値は、実績数値を除き当社の経営者が現時点で判断する一定の前提及び仮定に基づき算定しております。内在する仮定及び状況の変化等により、実際の業績等が見通しの数値と異なることがあり得ますことをご承知おき下さい。

連 結 貸 借 対 照 表

(単位：百万円)

科 目	当第3 四半期末 (A) (平成18年 12月31日現在)	前連結 会計年度末 (B) (平成18年 3月31日現在)	(A) - (B)	前第3 四半期末 (平成17年 12月31日現在)	科 目	当第3 四半期末 (A) (平成18年 12月31日現在)	前連結 会計年度末 (B) (平成18年 3月31日現在)	(A) - (B)	前第3 四半期末 (平成17年 12月31日現在)
(資産の部)					(負債の部)				
流動資産	316,195	309,408	6,787	307,157	流動負債	293,895	197,593	96,302	195,480
現金及び預金	43,916	35,569	8,347	38,915	支払手形及び買掛金	92,359	73,399	18,960	67,816
受取手形及び売掛金	126,309	118,775	7,534	119,172	短期借入金	133,962	66,108	67,854	69,481
完成工事未収入金		272	272		1年以内に返済 予定の長期借入金	10,078	9,416	662	10,369
関係会社預け金		29,275	29,275	13,299	1年以内償還予定の社債	8,510	3,499	5,011	1,009
有価証券	300	1	299	717	未払費用	20,188	22,583	2,395	20,505
たな卸資産	121,532	106,113	15,419	112,199	前受金	906	634	272	650
繰延税金資産	11,516	10,521	995	13,387	繰延税金負債	8	21	13	3
その他	13,476	9,683	3,793	10,662	役員賞与引当金	274		274	
貸倒引当金	854	801	53	1,194	その他	27,610	21,933	5,677	25,647
固定資産	304,560	244,867	59,693	242,156	固定負債	109,402	123,225	13,823	129,167
有形固定資産	209,005	200,760	8,245	197,308	社債	33,427	38,397	4,970	41,962
建物及び構築物	60,915	59,148	1,767	59,030	長期借入金	37,108	43,598	6,490	45,800
機械装置及び運搬具	78,395	74,651	3,744	70,756	退職給付引当金	27,978	29,402	1,424	30,161
工具器具備品	5,482	5,309	173	5,312	役員退職慰労引当金	1,011	1,231	220	1,171
土地	56,031	56,097	66	54,621	環境安全対策引当金	1,528	1,528		
建設仮勘定	8,182	5,555	2,627	7,589	繰延税金負債	3,147	3,365	218	3,331
無形固定資産	55,601	3,215	52,386	2,763	負ののれん	1,016		1,016	
のれん	52,457		52,457		連結調整勘定		1,420	1,420	1,564
その他無形固定資産	3,144	3,215	71	2,763	その他	4,187	4,284	97	5,178
投資その他の資産	39,954	40,892	938	42,085	負債合計	403,297	320,818	82,479	324,647
投資有価証券	20,683	18,971	1,712	17,542	少数株主持分		53,497		51,367
長期貸付金	1,090	978	112	1,660	(資本の部)				
繰延税金資産	11,665	13,704	2,039	15,686	資本金		26,284		26,284
その他	8,007	7,941	66	7,953	資本剰余金		36,701		36,701
貸倒引当金	1,491	702	789	756	利益剰余金		121,348		115,948
					その他有価証券 評価差額金		4,045		3,587
					為替換算調整勘定		2,358		3,183
					自己株式		6,060		6,038
					資本合計		179,960		173,299
					負債、少数株主持分 及び資本合計		554,275		549,313
					(純資産の部)				
					株主資本	191,840			
					資本金	26,284			
					資本剰余金	36,703			
					利益剰余金	135,903			
					自己株式	7,050			
					評価・換算差額等	3,065			
					その他有価証券 評価差額金	2,819			
					繰延ヘッジ損益				
					為替換算調整勘定	246			
					少数株主持分	22,553			
					純資産合計	217,458			
資産合計	620,755	554,275	66,480	549,313	負債及び 純資産合計	620,755			

連 結 損 益 計 算 書

	当第3四半期(A) 自平成18年 4月 1日 至平成18年12月31日		前第3四半期(B) 自平成17年 4月 1日 至平成17年12月31日		(A) - (B)	(A) / (B)	前連結会計年度 自平成17年4月 1日 至平成18年3月31日	
	金 額	売上比	金 額	売上比			金 額	売上比
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
売 上 高	475,357	100.0	435,069	100.0	40,288	109	590,678	100.0
売 上 原 価	370,385	77.9	338,624	77.8	31,761	109	458,945	77.7
売 上 総 利 益	104,972		96,445		8,527	109	131,733	
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	65,523		62,890		2,633	104	84,231	
営 業 利 益	39,449	8.3	33,555	7.7	5,894	118	47,502	8.0
営 業 外 収 益	5,498	1.2	4,367	1.0	1,131	126	6,547	1.1
(受取利息及び配当金)	(881)		(468)		(413)	(188)	(759)	
(持分法による投資利益)	(360)		(79)		(281)	(456)	(508)	
(雑 収 益)	(4,257)		(3,820)		(437)	(111)	(5,280)	
営 業 外 費 用	6,067	1.3	5,090	1.2	977	119	8,744	1.5
(支 払 利 息)	(2,426)		(2,031)		(395)	(119)	(2,854)	
(雑 損 失)	(3,641)		(3,059)		(582)	(119)	(5,890)	
経 常 利 益	38,880	8.2	32,832	7.5	6,048	118	45,305	7.7
特 別 利 益	599	0.1	427	0.1	172	140	642	0.1
(確定拠出年金移行差益)	()		(144)		(144)	()	(144)	
(連結子会社株式売却益)	(18)		(33)		(15)	(55)	(91)	
(関連会社株式売却益)	(2)		()		(2)	()	()	
(固定資産売却益)	(488)		(250)		(238)	(195)	(407)	
(営業譲渡益)	(91)		()		(91)	()	()	
特 別 損 失	3,286	0.7	5,276	1.2	1,990	62	6,450	1.1
(固定資産評価損)	()		(1,419)		(1,419)	()	(1,419)	
(確定拠出年金制度移行に伴う損失)	()		()		()	()	(14)	
(固定資産減損損失)	(270)		(1,607)		(1,337)	(17)	(1,607)	
(固定資産売却損)	(132)		(56)		(76)	(236)	(56)	
(環境安全対策費用)	(107)		()		(107)	()	(1,553)	
(事業構造改革特別損失)	(1,306)		(2,194)		(888)	(60)	(1,801)	
(関係会社貸倒引当金繰入額)	(1,064)		()		(1,064)	()	()	
(訴訟和解費用)	(407)		()		(407)	()	()	
税 金 等 調 整 前 四 半 期 (当 期) 純 利 益	36,193	7.6	27,983	6.4	8,210	129	39,497	6.7
法 人 税 等	13,883	2.9	12,581	2.9	1,302	110	17,049	2.9
少 数 株 主 利 益	4,065	0.9	3,748	0.9	317	108	5,283	0.9
四 半 期 (当 期) 純 利 益	18,245	3.8	11,654	2.7	6,591	157	17,165	2.9

連結株主資本等変動計算書

当第3四半期（自平成18年4月1日至平成18年12月31日）

（単位：百万円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成18年3月31日 残高	26,284	36,701	121,348	6,060	178,273
当四半期中の変動額					
剰余金の配当			3,460		3,460
役員賞与			177		177
四半期純利益			18,245		18,245
自己株式の取得				992	992
自己株式の処分		2		2	4
在外連結会社の機能 通貨変更による増減額			53		53
株主資本以外の項目の 当四半期中の変動額(純額)					
当四半期中の変動額合計		2	14,555	990	13,567
平成18年12月31日 残高	26,284	36,703	135,903	7,050	191,840

	評価・換算差額等				少数株主 持分	純資産 合計
	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計		
平成18年3月31日 残高	4,045		2,358	1,687	53,497	233,457
当四半期中の変動額						
剰余金の配当						3,460
役員賞与						177
四半期純利益						18,245
自己株式の取得						992
自己株式の処分						4
在外連結会社の機能 通貨変更による増減額						53
株主資本以外の項目の 当四半期中の変動額(純額)	1,226		2,604	1,378	30,944	29,566
当四半期中の変動額合計	1,226		2,604	1,378	30,944	15,999
平成18年12月31日 残高	2,819		246	3,065	22,553	217,458

連結キャッシュ・フロー計算書

区 分	当第3四半期 自平成18年4月1日 至平成18年12月31日	前第3四半期 自平成17年4月1日 至平成17年12月31日	前連結会計年度 自平成17年4月1日 至平成18年3月31日
【営業活動によるキャッシュ・フロー】	百万円	百万円	百万円
税金等調整前四半期(当期)純利益	36,193	27,983	39,497
減価償却費	18,343	16,550	22,579
事業構造改革特別損失	1,306	2,194	1,801
環境安全対策費用	107	-	1,553
関係会社貸倒引当金繰入額	1,064	-	-
訴訟和解費用	407	-	-
退職給付引当金の減少額()	1,461	1,400	2,228
確定拠出年金移行差益	-	144	130
有形固定資産売却益	546	360	559
有形固定資産処分損	938	709	1,758
有形固定資産評価損	-	1,419	1,419
固定資産減損損失	270	1,607	1,607
受取利息及び受取配当金	881	468	759
支払利息	2,426	2,031	2,854
売上債権の増加額()	6,513	2,907	1,976
完成工事未収入金の減少額	272	816	545
たな卸資産の増加額()	14,550	7,777	1,671
仕入債務の増加額	18,660	4,578	9,164
その他	5,122	3,974	4,924
小計	50,913	40,857	70,530
確定拠出年金移管金の支払額	1,316	1,455	1,477
事業構造改革特別損失の支払額	1,306	929	918
利息及び配当金の受取額	1,004	598	888
利息の支払額	2,310	1,922	2,805
法人税等の支払額	10,245	10,179	10,671
営業活動によるキャッシュ・フロー	36,740	26,970	55,547
【投資活動によるキャッシュ・フロー】			
有価証券の償還による収入	1	1	12
投資有価証券の取得による支出	3,917	547	638
投資有価証券の売却による収入	220	418	587
連結子会社株式の追加取得による支出	86,584	-	-
連結子会社株式の売却による収入	25	-	87
有形固定資産の取得による支出	23,297	19,012	28,808
有形固定資産の売却による収入	1,504	1,171	2,269
無形固定資産の取得による支出	733	612	1,280
事業譲渡による収入	181	-	-
その他	268	81	212
投資活動によるキャッシュ・フロー	112,868	18,662	27,983
【財務活動によるキャッシュ・フロー】			
短期借入金純増加額又は純減少額()	67,385	828	4,276
長期借入による収入	1,802	300	659
長期借入金の返済による支出	7,683	4,039	7,646
社債の償還による支出	-	-	937
自己株式の売却による収入	4	1	1
自己株式の取得による支出	992	1,735	1,757
親会社による配当金の支払額	3,460	3,477	3,477
少数株主への配当金の支払額	862	624	620
財務活動によるキャッシュ・フロー	56,194	10,402	18,053
現金及び現金同等物に係る換算差額	695	1,461	1,770
現金及び現金同等物の増加額及び減少額()	20,629	633	11,281
現金及び現金同等物の期首残高	64,844	53,563	53,563
新規連結に伴う現金及び現金同等物増加額	-	-	-
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	44,215	52,930	64,844
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高と連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係			
現金及び預金	43,916	38,915	35,569
有価証券(MMF等)	299	716	-
関係会社預け金	-	13,299	29,275
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	44,215	52,930	64,844

セグメント情報

1. 事業の種類別セグメント情報

当第3四半期：平成18年4月1日～平成18年12月31日

(単位：百万円)

	高級 金属製品	電子・ 情報部品	高級機能 部 品	サービス他	計	消 去 又は 全 社	連 結
.売上高及び営業損益							
売上高							
(1)外部顧客に対 する売上高	184,510	108,174	137,127	45,546	475,357	-	475,357
(2)セグメント間 の内部売上高 又は振替高	17,746	17,697	17,542	7,880	60,865	60,865	-
計	202,256	125,871	154,669	53,426	536,222	60,865	475,357
営業費用	185,117	112,772	144,459	52,230	494,578	58,670	435,908
営業利益	17,139	13,099	10,210	1,196	41,644	2,195	39,449

前第3四半期：平成17年4月1日～平成17年12月31日

(単位：百万円)

	高級 金属製品	電子・ 情報部品	高級機能 部 品	サービス他	計	消 去 又は 全 社	連 結
.売上高及び営業損益							
売上高							
(1)外部顧客に対 する売上高	164,574	102,036	124,702	43,757	435,069	-	435,069
(2)セグメント間 の内部売上高 又は振替高	15,575	18,029	10,843	2,449	46,896	46,896	-
計	180,149	120,065	135,545	46,206	481,965	46,896	435,069
営業費用	164,188	107,213	129,143	45,609	446,153	44,639	401,514
営業利益	15,961	12,852	6,402	597	35,812	2,257	33,555

前期：平成17年4月1日～平成18年3月31日

(単位：百万円)

	高級 金属製品	電子・ 情報部品	高級機能 部 品	サービス他	計	消 去 又は 全 社	連 結
.売上高及び営業損益							
売上高							
(1)外部顧客に対 する売上高	225,647	135,747	168,905	60,379	590,678	-	590,678
(2)セグメント間 の内部売上高 又は振替高	20,428	24,206	15,417	9,044	69,095	69,095	-
計	246,075	159,953	184,322	69,423	659,773	69,095	590,678
営業費用	223,266	142,845	175,076	68,004	609,191	66,015	543,176
営業利益	22,809	17,108	9,246	1,419	50,582	3,080	47,502

(注) 事業区分の方法・・・製品の種類、製造方法、販売方法等の類似性、収益管理等の単位を勘案し事業区分を行っている。

各事業区分の主要製品

事業区分	主 要 製 品
高級金属製品	金型・工具用材料、電子金属材料（ディスプレイ関連材料、半導体等パッケージ材料）、各種ロール（鉄鋼圧延用ロール・非金属圧延用ロール・非金属用ロール）、射出成形機用部品、構造用セラミックス部品、鉄骨構造部品、鍛鋼品、切削工具
電子・情報部品	硬質磁性材料（フェライト・希土類・鋳造・ボンドマグネットおよびその応用品）、携帯電話用部品（アイソレータ、積層部品）、IT機器用材料・部材、軟質磁性材料（ソフトフェライト、ナノ結晶軟磁性合金[ファインメット®]、アモルファス金属材料）
高級機能部品	高級ダクタイル鋳鉄製品、耐熱鋳造製品、アルミホイール、その他アルミニウム製品、各種管継手、ステンレスおよびプラスチック配管機器、冷却水供給装置、精密流体制御機器、内装システム、構造システム
サービス他	環境分析・コンサルティング、金属材料の分析・調査・解析、その他の販売・サービス等

本セグメント情報の金額は消費税抜きで表示している。

営業費用のうち「消去又は全社」に含めた配賦不能営業費用(当第3四半期 1,431 百万円、前第3四半期 2,091 百万円)の主なものは、提出会社の本社コーポレート部門に係る費用である。

2. 所在地別セグメント情報

当第3四半期：平成18年4月1日～平成18年12月31日

(単位：百万円)

	日本	北米	アジア	その他	計	消去 又は全社	連結
売上高及び営業損益							
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	343,452	58,708	54,480	18,717	475,357	-	475,357
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	60,432	9,882	30,465	510	101,289	101,289	-
計	403,884	68,590	84,945	19,227	576,646	101,289	475,357
営業費用	371,509	63,324	81,347	18,800	534,980	99,072	435,908
営業利益	32,375	5,266	3,598	427	41,666	2,217	39,449

前第3四半期：平成17年4月1日～平成17年12月31日

(単位：百万円)

	日本	北米	アジア	その他	計	消去 又は全社	連結
売上高及び営業損益							
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	319,393	53,076	46,331	16,269	435,069	-	435,069
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	53,182	12,503	27,720	410	93,815	93,815	-
計	372,575	65,579	74,051	16,679	528,884	93,815	435,069
営業費用	342,975	61,568	70,992	16,723	492,258	90,744	401,514
営業利益	29,600	4,011	3,059	44	36,626	3,071	33,555

前期：平成17年4月1日～平成18年3月31日

(単位：百万円)

	日本	北米	アジア	その他	計	消去 又は全社	連結
売上高及び営業損益							
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	431,976	71,849	64,437	22,416	590,678	-	590,678
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	72,979	16,302	38,351	670	128,302	128,302	-
計	504,955	88,151	102,788	23,086	718,980	128,302	590,678
営業費用	463,707	82,262	98,558	23,205	667,732	124,556	543,176
営業利益	41,248	5,889	4,230	119	51,248	3,746	47,502

(注) 国又は地域の区分は、地理的近接度によっている。

本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1)北米 ... アメリカ

(2)アジア ... シンガポール・中国・香港・台湾・タイ・フィリピン

(3)その他の地域 ... ドイツ・イギリス

営業費用のうち「消去又は全社」に含めた配賦不能営業費用(当第3四半期 1,431 百万円、前第3四半期 2,091 百万円)の主なものは、提出会社の本社コーポレート部門に係る費用である。

3. 海外売上高

当第3四半期：平成18年4月1日～平成18年12月31日 (単位：百万円)

	北米	アジア	欧州	その他	計
.海外売上高	53,012	107,050	23,730	6,503	190,295
.連結売上高					475,357
.海外売上高の連結売上高に占める割合	11.2 %	22.5 %	5.0 %	1.3 %	40.0 %

前第3四半期：平成17年4月1日～平成17年12月31日 (単位：百万円)

	北米	アジア	欧州	その他	計
.海外売上高	50,239	92,650	21,324	6,171	170,384
.連結売上高					435,069
.海外売上高の連結売上高に占める割合	11.6 %	21.3 %	4.9 %	1.4 %	39.2 %

前期：平成17年4月1日～平成18年3月31日 (単位：百万円)

	北米	アジア	欧州	その他	計
.海外売上高	67,860	126,622	28,310	9,337	232,129
.連結売上高					590,678
.海外売上高の連結売上高に占める割合	11.5 %	21.4 %	4.8 %	1.6 %	39.3 %

(注) 国又は地域の区分は、地理的近接度によっている。

各区分に属する主な国又は地域

- (1)北米 ... アメリカ・カナダ
- (2)アジア ... 韓国・中国・香港・台湾・シンガポール
- (3)欧州 ... EU諸国
- (4)その他の地域 ... 中南米

海外売上高は、提出会社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高である。
売上高の金額は消費税等抜きで表示している。

平成19年3月期 第3四半期財務・業績の概況（個別）

平成19年1月31日



上場会社名 日立金属株式会社

上場取引所 東大

コード番号 5486

本社所在都道府県 東京都

(URL http://www.hitachi-metals.co.jp)

代表者 執行役社長 持田 農夫男

問合せ先責任者 コミュニケーション室長 石毛 秀 TEL (03)5765 - 4073

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
 固定資産の減価償却の方法について年度見込額のうち当第3四半期分を計上しております。
 また、法人税等の計上は、簡便的に課税所得金額を算定し、法定実効税率を使用して計上しております。
 最近会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

2. 平成19年3月期第3四半期財務・業績の概況（平成18年4月1日～平成18年12月31日）

(1) 経営成績の進捗状況 (注) 百万円未満は四捨五入して表示しております。

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年3月期第3四半期	222,714	12.2	10,031	32.7	14,712	47.7	9,251	71.6
18年3月期第3四半期	198,548	7.4	7,561	9.7	9,960	2.9	5,392	25.0
(参考)18年3月期	268,986		10,572		12,538		6,339	

	1株当たり四半期(当期)純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
19年3月期第3四半期	26.75	-
18年3月期第3四半期	15.53	-
(参考)18年3月期	18.26	-

(注)売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率

(2) 財政状態の変動状況

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
19年3月期第3四半期	375,355	122,924	32.7	355.64
18年3月期第3四半期	280,981	117,480	41.8	339.05
(参考)18年3月期	289,429	118,420	40.9	341.78

3. 平成19年3月期の業績予想（平成18年4月1日～平成19年3月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
通 期	300,000	17,000	9,500

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 27円49銭

[業績予想に関する定性的情報等]

パソコンや携帯電話、半導体などエレクトロニクス関連製品及び自動車関連製品の需要が堅調に推移しており、平成19年3月期(平成18年4月1日～平成19年3月31日)の通期業績は、売上高が中間期決算発表時の予想を上回る見込みです。

(注記) 前述の業績見通し等に記載されている各数値は、実績数値を除き当社の経営者が現時点で判断する一定の前提及び仮定に基づき算定しております。内在する仮定及び状況の変化等により、実際の業績等が見通しの数値と異なることがあり得ますことをご承知おき下さい。